

第
30
号

在宅強化型老健へ移行しました。

在宅強化型は、在宅復帰率等算定条件が厳しく、いいいでは、当面は移行することが難しいと考えていましたが、昨年より施設のテーマを「在宅復帰」と定め、職員が一丸となつて、リハビリを中心としたサービスの提供によるご利用者の自立支援の推進や、ご家族の皆様に、在宅復帰に向けてご理解、ご協力をいただいたことにより、算定要件を満たし、この4月から「在宅強化型」へ移行することができました。



■在宅強化型老健の条件■

① 在宅復帰率＝ 50%以上【52.32%】

② ベッド回転率=10%以上【33.00%】

(前3月間のベッドの回転率)

③ 重傷者の割合=35%以上【36. 30%】

(前3月間の入所者に占める介護度4・5の入所率)

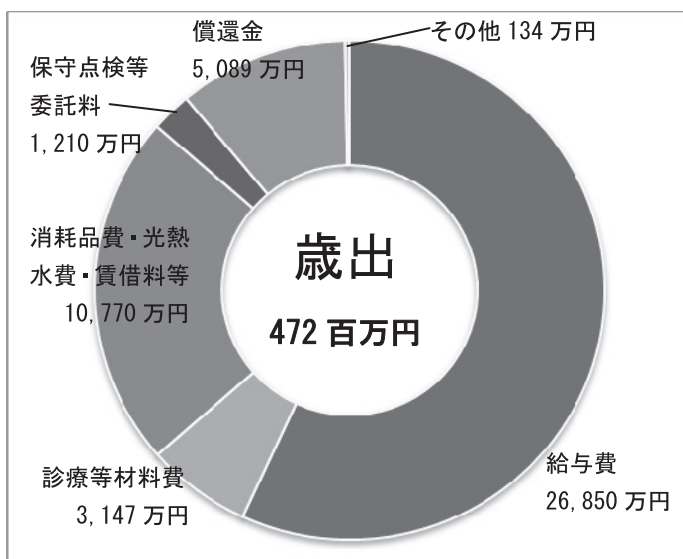
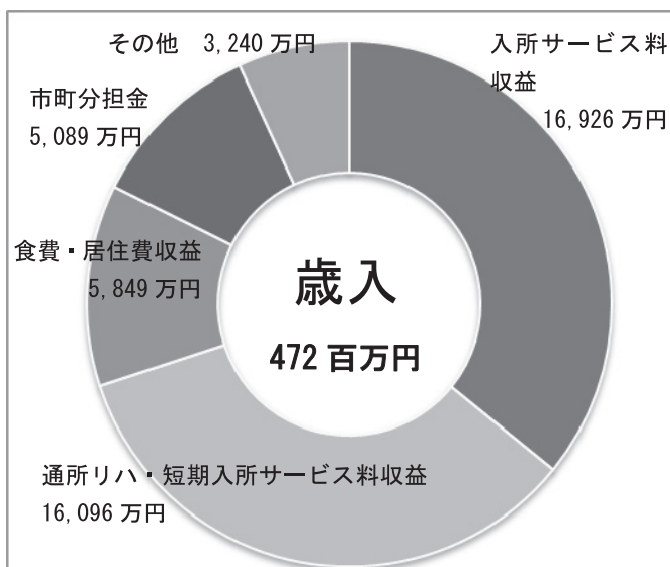
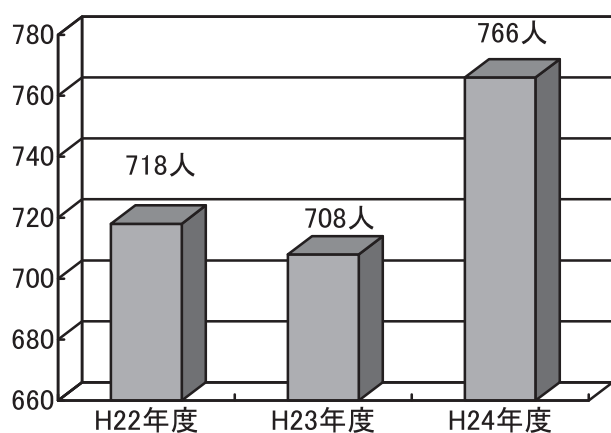
移行したことで、ご利用者のご負担は若干増えますが、これからは今まで以上に、地域の皆様から信頼される、ご利用者、ご家族様から喜んでいただける施設づくり、並びに、老健本来の使命である「在宅復帰」「在宅生活支援」を総合的に推進し、高齢者の皆様が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、ご支援してまいります。一層のご理解ご協力お願い申し上げます。

■通所リハビリテーションの施設区分
は、大規模事業所(Ⅰ)になりました。

通所リハビリテーションは、昨年ご利用者が増加し、1ヶ月当たりの平均利用者数が750人を超え、この4月より施設区分が「大規模事業所(Ⅰ)」となります。施設区分が変更となったことで、介護報酬並びにご利用者の負担金単価が若干下がりますが、他には変更ありません。これからも、在宅生活支援のためにリハビリを中心としたサービスをご提供してまいりますので、よろしくお願いいたします。

通所リハビリテーションの施設区分は、大規模事業所（Ⅰ）になりました。

通所リハビリテーション1月当り平均利用者の推移



平成25年度の予算は、4億7千200万円になりました。

3月19日、依田窪医療福祉事務組合3月定例会が開かれました。

老健いこいの関係では、平成25年度特別会計予算案や、平成24年度補正予算案が審議され可決されました。

平成25年度予算は、既存棟屋上面の改修工事等の大型事業があり、対前年度12%、5千70万円の増となりました。

こころのふれあいを大切に

Cユニットリーダー 飯塚 稔

現在、認知症の高齢者は300万人を超え、65歳以上の10人に1人の割合と言われています。

今回は、認知症のご利用者とのコミュニケーションについて、お話しさせていただきたいと思います。

いこいでも近年、認知症の症状のあるご利用者が増加しています。認知症高齢者との接し方については「自尊心を傷つけない。」「主張を受け入れる。」「わかりやすい言葉や、ジェスチャーを使う。」などと言われています。私が実際にケアを通じて感じたことは「**こころとこころ**でコミュニケーションをとる。」ということです。

認知症の高齢者といっても、人それぞれ個性があるように症状も様々です。一緒にいることで安心されるご利用者もいれば、1対1で話をしていると安心されるご利用者、集団の中に入ると安心されるご利用者と接し方も様々です。私たちは日々のケアの中でそのご利用者にあった対応方法を探し、実践しています。

しかし、季節や時間帯によっても症状が変化することも多くあり、一つの対応方法でよいということにはいきません。認知症の高齢者は、相手の気持ちを感じ取ることが、とても上手と言われています。その場だけの対応や言葉だけの対応では安心していただくどころか、不安を強くしてしまうことがあります。安心していただくためには、ご利用者の心の中まで入りコミュニケーションをとることが必要です。そのためには時間がかかります。時間をかけ、お互いが心を許せる関係づくりができてこそ、**こころ**のふれあいができるのだと思います。**こころ**のふれあいによって笑顔があふれ皆様の「いこいの場」となるように、これからもがんばっていきたいと思います。



櫻井美里

介護員という仕事は、簡単ではないですが、仕事を早く覚えて利用者様に満足していただけるようがんばります。



保科真奈美

利用者様、職員の皆さんと絆を大事に仕事を早く覚えて、お役に立てる介護職員になりたいです。



塚田純平

利用者の皆様に信頼していただける介護士になり、明るく楽しい時間を共有して行けるよう、日々努力します。

新規採用職員の紹介「よろしくお願いします。」



宮下美和

利用者様との出会い、職員の方との出会いを大切に、経験を積み重ね資格取得に向けて頑張ります。



小山大介

長和町長久保出身の18歳です。未熟ですが日々の仕事を通じ勉強を重ね、頑張ります。



勝野 晃

明るく元気に、笑顔で過ごすことを大切にしています。いこいの方々の力になれるよう、頑張りたいと思います。

ひな祭り（3月3日実施）



あかりをつけましょ ぼんぼりに～
お花をあげましょ 桃の花～
施設じゅうに歌声が響き渡った日
ご利用者による着付けで、町娘風のお雛様とイケメン(自称)のお内裏様が誕生しました。

(行事係 杉浦 光)

(平成25年3月の出来事)

ふ
れ
あ
い

縦笛演奏ボランティア

(3月14日)



上田市を中心に活動をしておられる縦笛ボランティアが、演奏にきてくださいました。ご利用者が昔歌った曲や、体操を交えた曲も奏でてください、楽しい時間を過ごしました。

(支援相談員 小林正国)

人事関係

3月31日、4月1日付で、次のとおり人事異動がありました。

● 3月31日付(退職)

▽櫻井岸子(介護員)▽山宮千菜実(介護員)▽宮澤まなみ(介護員)

▽中田洋平(介護員)

● 4月1日付

昇格

櫻井延子 副看護師長

松崎和美 主任管理栄養士

異動

看護師 大堀徳子(病院→老健)

新規採用

▽塚田純平(介護員)▽勝野 晃(介護員)▽保科真奈美(介護員)▽小山大介(介護員)▽櫻井美里(介護員)▽宮下美和(介護員)

★編集後記★

いこいの丘公園の桜の花も咲き、利用者様と花見を行い、利用者様から「桜の花はきれいだねえ」「風が少し冷たいけれど気持ちいいね」との感想を聞きました。少しの時間のお花見でしたが、喜んでいただくことができました。

今年度も、「いこいツシム」をよろしくお願いします。(編集委員)